

六本木三丁目東地区の街づくりについて

1. 計画地の位置・地区の概況

六本木三丁目東地区は、放射一号線と六本木通りに面し、東京メトロ六本木一丁目駅に隣接した約2.7haの区域です。

隣接する六本木一丁目駅の東側は、赤坂・六本木地区（アークヒルズ）、六本木一丁目西地区（泉ガーデン）といった開発による市街地整備が行われており、虎ノ門・六本木地区などさらに市街地整備が進んでいく傾向がみられました。

一方で、六本木一丁目駅の西側は、良好な立地条件にも関わらず、高低差の著しい立地特性に加え、大規模業務ビル、非耐火建築物の住宅や六本木通り沿いに立地している小規模ビル等が混在した土地利用がなされている中、建築物の老朽化が進行していました。また、駅の西口改札がなく、駅西側市街地からの利便性が低い状況でした。

そのため、六本木一丁目駅の駅前拠点として、街区再編による小規模敷地の集約化や道路等の基盤施設の整備・拡充、西口改札の新設と接続通路の整備により、市街地の整備水準と駅西側の利便性を高め、駅を中心としたバランスのとれた市街地形成を図るとともに、積極的な緑化や防災性の高い街づくりを進め、業務・商業・居住等の機能が融合した魅力ある複合市街地を形成していくことが、本地区の役割として望まれていました。



□配置計画

※出典：国土地理院ホームページ
(<https://www.gsi.go.jp/>)「地理院地図」
を加工して作成

2. これまでの主な経緯

平成20年3月	六本木三丁目東地区再開発協議会設立
平成21年1月	六本木三丁目東地区市街地再開発準備組合設立
平成23年9月	都市計画決定
平成24年3月	六本木三丁目東地区市街地再開発組合設立
平成25年6月	本体工事着工
平成28年4月	住宅棟・商業棟・変電所棟竣工
平成28年10月	業務棟竣工
令和2年6月	六本木三丁目東地区市街地再開発組合解散

3. 主要な公共施設等

主要な公共施設の配置及び規模	種類	名称	幅員, 延長, 面積	備考	地区施設の配置及び規模	種類	名称	幅員, 延長, 面積	備考
	道路	地区幹線道路1号 (区道845号)	12m, 約85m	拡幅		道路	区画道路 (区道397号)	7m, 約175m	一部拡幅
その他の公共空地	地下鉄駅前広場	約750㎡	新設	その他の公共空地	広場1号	約1,400㎡	新設		
	地下鉄連絡広場	約530㎡	新設 (地上及び地下)		広場2号	約1,000㎡	新設		
	地下鉄連絡通路	5~10m, 約170m	新設		歩道状空地	4m, 約250m	新設		

4. 施設建築物の概要

□ 第一種市街地再開発事業における施設建築物の概要

地区区分	北街区	南街区	合計
施行区域面積	約2.7ha		—
敷地面積	約1,840㎡	約17,380㎡	約19,220㎡
建築面積	約1,210㎡	約9,940㎡	約11,150㎡
延べ面積	約2,750㎡	約207,740㎡	約210,490㎡
主要用途	商業、駐車場	業務、住宅(約226戸)、 商業、スタジオ、駐車場	
建築物の高さ	商業棟：約20m	業務棟：約250m 住宅棟：約109m	
階数	商業棟：地上3階/ 地下1階	業務棟：地上40階/地下 5階 住宅棟：地上27階/地下 2階	



□施設建築物



□配置図